

NY マーケットレポート (2015年8月14日)

NY 市場では、序盤に発表された米国の生産者物価指数、鉱工業生産がいずれも市場予想を上回る結果となり、米国の早期利上げも意識され、ドル買い・円売りが優勢となった。また、円が売られたことから、クロス円も堅調な動きとなった。しかし、その後に発表されたミシガン大学消費者信頼感指数が予想を下回ったことや、堅調な展開で始まったダウ平均株価がマイナス圏まで下落したこと、また米長期債利回りが低下したことも加わり、円を買い戻す動きが優勢となり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。ユーロは、ギリシャ議会が金融支援を受けるために必要な財政再建策関連法案を可決したことから、欧州タイムでは堅調な動きとなったが、臨時のユーロ圏財務相会合が開かれており、新たなギリシャ向け金融支援の実行を正式に決定するかどうか結果を見極めたいとの思惑から、主要通貨に対して軟調な展開が続いた。

2015/8/14 (金)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	124.36	124.54	124.22
EUR/JPY	138.38	138.85	138.35
GBP/JPY	193.90	194.42	193.87
AUD/JPY	91.73	91.91	91.55
EUR/USD	1.1129	1.1172	1.1124

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	124.39	124.06
EUR/JPY	138.82	138.36
GBP/JPY	194.15	193.86
AUD/JPY	91.86	91.64
EUR/USD	1.1189	1.1126

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株値	終値	前日比
日経平均	20519.45	-76.10
ハンセン指数	23991.03	-27.77
上海総合	3965.33	+10.78
韓国総合指数	休 場	
豪ASX200	5356.54	-31.33
インドSENSEX指数	28067.31	+517.78
シンガポールST指数	3114.25	+22.47

欧州主要株値	終値	前日比
英FT100	6550.74	-17.59
仏CAC40	4956.47	-30.38
独DAX	10985.14	-29.49
ST欧州600	386.24	-0.45
西IBX35指数	10879.30	-68.60
伊FTSE MIB指数	23248.52	-107.49
南ア 全株指数	50821.18	-554.26

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	124.31	124.39	124.12
EUR/JPY	138.11	138.73	137.93
GBP/JPY	194.47	194.54	193.92
AUD/JPY	91.75	91.90	91.56
NZD/JPY	81.28	81.64	81.23
EUR/USD	1.1112	1.1176	1.1099
AUD/USD	0.7381	0.7398	0.7366

米主要株値	終値	前日比
米ダウ平均	17477.40	+69.15
S&P500	2091.54	+8.15
NASDAQ	5048.23	+14.68
その他主要株	終値	前日比
🇨🇦 トロント総合	14277.88	+39.48
🇧🇷 ボルサ指数	43746.72	-123.81
🇲🇽 ボベスパ指数	47508.41	-501.16

8/17 経済指標スケジュール

08:01	【英】8月ライトムーブ住宅価格
08:50	【日】2Q GDP
08:50	【日】2Q GDPデフレーター
09:30	【シンガポール】7月電子機器輸出
09:30	【シンガポール】7月輸出
16:00	【トルコ】5月失業率
16:15	【スイス】6月実質小売売上高
17:00	【ノルウェー】7月貿易収支
18:00	【欧】6月貿易収支
21:30	【米】8月ニューヨーク連銀製造業景気指数
21:30	【カナダ】6月国際証券取扱高
23:00	【米】8月NAHB住宅市場指数
05:00	【米】6月対米証券投資

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1112.70	-2.90
NY 原油	42.50	+0.27
CMEコーン	375.50	+0.25
CBOT 大豆	916.50	-10.50

米国債利回り	本 日	前 日
2年債	0.73%	0.71%
3年債	1.08%	1.06%
5年債	1.60%	1.57%
7年債	1.95%	1.94%
10年債	2.20%	2.19%
30年債	2.84%	2.86%

8/17 主要会議・講演・その他予定

(出所: SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 124.12 ユーロ/円 138.66 ユーロ/ドル 1.1172

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6557.28	-11.05	ダウ 先物ミニ	17338	-31
仏 CAC40	4955.73	-31.12	S&P 500 ミニ	2075.50	-5.00
独 DAX	10962.80	-51.83	NASDAQ 100 ミニ	4506.75	-10.50

(出所: SBILM)

21:30

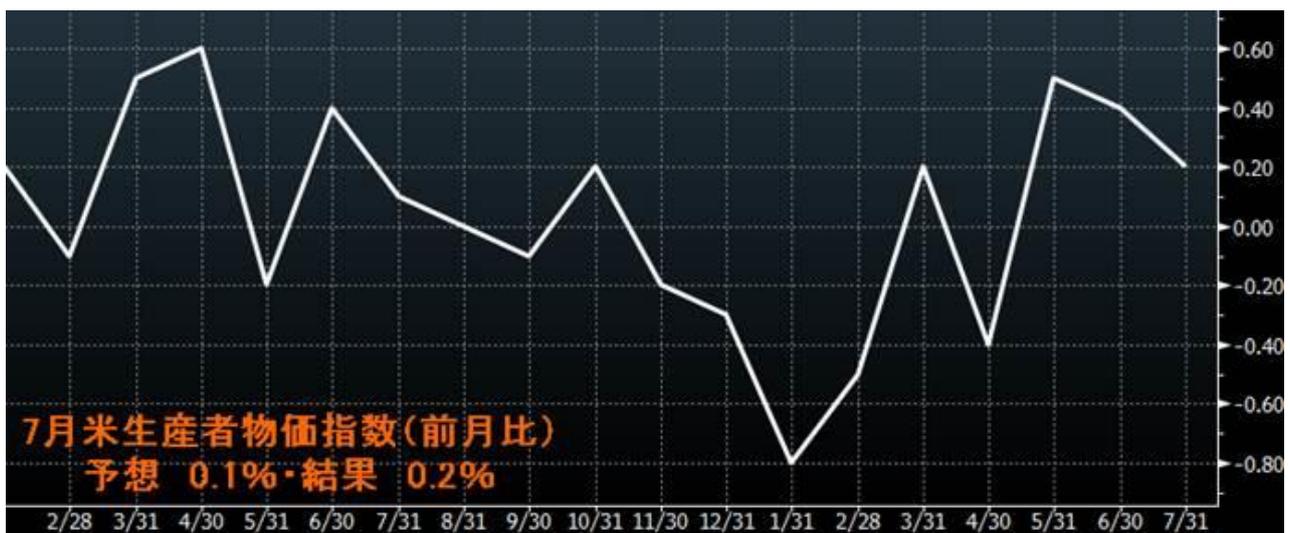
◀ 経済指標の結果 ▶

7月米生産者物価指数(前月比) 0.2% (予想 0.1%・前回 0.4%)

7月米生産者物価指数[コア] 0.3% (予想 0.1%・前回 0.3%)

7月米生産者物価指数(前年比) -0.8% (予想 -0.9%・前回 -0.7%)

7月米生産者物価指数[コア] 0.6% (予想 0.5%・前回 0.8%)



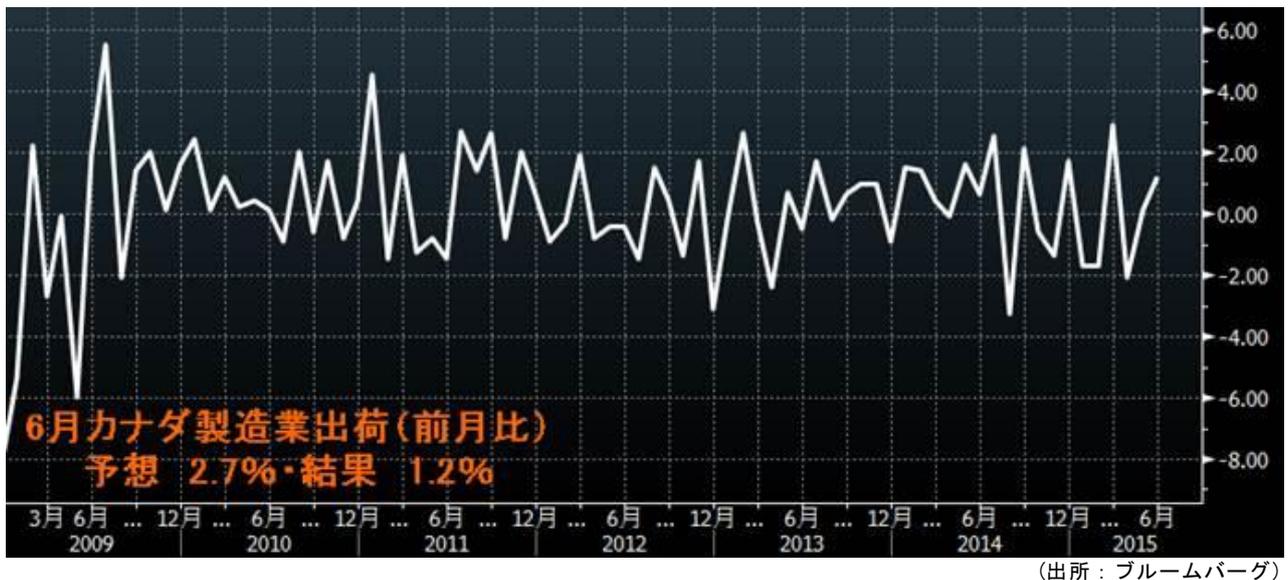
(出所: ブルームバーグ)



21:30

◀ 経済指標の結果 ▶

6月カナダ製造業出荷(前月比) 1.2% (予想 2.7%・前回 0.2%)
 前回発表の0.1%から0.2%に修正



指標結果データ

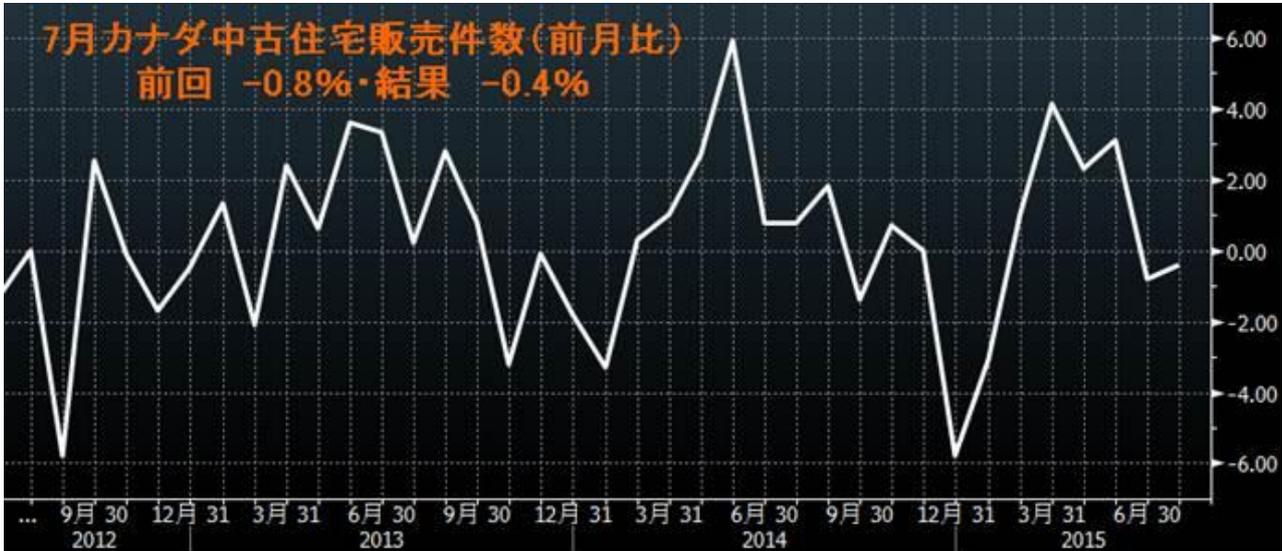
◀ 生産者物価指数 ▶

	7月	6月	5月	4月	3月	2月
完成品	0.2	0.4	0.5	-0.4	0.2	-0.5
除く食品・エネルギー	0.0	0.4	0.2	-0.1	0.2	-0.1
消費財	-0.1	0.7	1.3	-0.7	0.3	-0.4
食料品	-0.1	0.6	0.8	-0.9	-0.8	-1.6
エネルギー全体	0.6	2.4	5.9	-2.9	1.5	0.0
サービス	0.4	0.3	0.0	-0.1	-0.2	-0.5

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

7月カナダ中古住宅販売件数(前月比) -0.4% (前回 -0.8%)



(出所：ブルームバーグ)

22 : 15

◀ 経済指標の結果 ▶

7月米鉱工業生産(前月比) 0.6% (予想 0.3%・前回 0.1%)
 前回発表の0.3%から0.1%に修正

7月米設備稼働率 78.0% (予想 78.0%・前回 77.7%)
 前回発表の78.4%から77.7%に修正



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

指標結果データ

＜米鉱工業生産・設備稼働率＞

	7月	6月	5月	4月	3月	2月
鉱工業生産	0.6	0.1	-0.3	-0.3	-0.1	-0.2
製造業	0.8	-0.3	0.1	0.3	0.2	-0.4
鉱業	0.2	0.7	-2.0	-1.7	0.4	-1.7
最終財	0.8	-0.2	-0.1	-0.3	-0.1	-0.4
原材料	0.6	0.2	-0.4	-0.4	0.1	0.1
設備稼働率	78.0	77.7	77.7	78.0	78.3	78.4
製造業	76.2	75.7	76.0	76.0	75.8	75.7
鉱業	84.4	84.5	84.1	86.1	87.9	87.9

22:33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17404.25	-4.00
ナスダック	5024.05	-9.50

(出所：SBILM)

23:00

＜経済指標の結果＞

8月ミシガン大学消費者信頼感指数 92.9 (予想 93.5・前回 93.1)



経済指標データ

《ミシガン大学消費者信頼感指数》

	8月	7月	6月	5月	4月	3月
消費者信頼感	92.9	93.1	96.1	90.7	95.9	93.0
景気現況指数	107.1	107.2	108.9	100.8	107.0	105.0
消費者期待指数	83.8	84.1	87.8	84.2	88.8	85.3
1年インフレ	2.8	2.8	2.7	2.8	2.6	3.0
5年インフレ	2.7	2.8	2.6	2.8	2.6	2.8

23 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、米国の卸売物価指数と鉱工業生産指数がいずれも上昇したため、米経済の順調な回復を見込んだ買いが広がり、主要株価は堅調な動きとなっている。

《 経済指標のポイント 》

(1) 7月の米生産者物価は、前月比+0.2%と市場予想上回り、3ヵ月連続のプラスとなった。前年同月比では-0.8%となった。輸送コストや販売手数料などのサービス需要がプラスとなり、全体を押し上げた。ただ、エネルギー関連が大きく値下がりしてモノの需要がマイナスになり、物価上昇を圧迫した。

①変動の激しい食品とエネルギーを除いた指数は前月比+0.3%、前年同月比は+0.6%。食品とエネルギー、貿易サービスを除いたベースでは前月比+0.2%、前年同月比は+0.9%となった。

②品目別では、エネルギーが-0.6%、天然ガスは値下がり、食品は-0.1%、サービスは+0.4%、サービスのうち、貿易は+0.4%、輸送・倉庫は+0.2%。

(2) 7月の米鉱工業生産は、前月比+0.6%となり、2ヵ月連続でプラスとなった。主力の自動車関連を中心とした製造業の好調が全体を押し上げ、昨年11月以来8ヵ月ぶりの高い伸びとなった。

①製造業が+0.8%、鉱業が+0.2%、電力・ガスが-1.0%。製造業では、自動車・同部品が+10.6%、木工製品は+1.4%、一次金属が+0.2%、衣料と製紙もそれぞれ+1.0%。一方、石油・石炭製品は-0.9%。

②設備稼働率は、前月比0.3ポイント上昇の78.0%と市場予想と一致したが、過去20年間の平均値の80は依然として下回る結果が続いている。

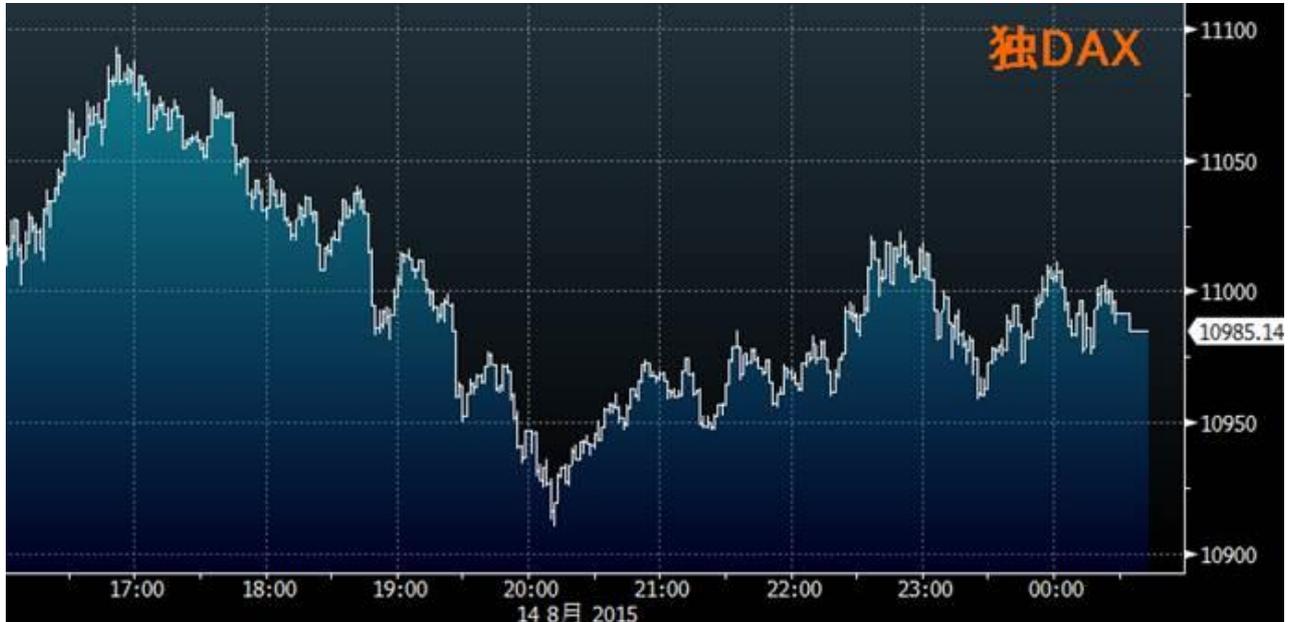
(3) 8月のミシガン大学消費者信頼感指数の速報値は92.9となり、7月の確報値から0.2ポイント低下し、3ヵ月ぶりの低水準となった。市場予想の93.5も下回る結果となった。現状指数は107.1と7月確報値から0.1ポイント低下、先行き期待は83.8と7月確報値から0.3ポイントの低下となった。1年後のインフレ期待は2.8%で7月確報値から横ばいとなった。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6550.74	-17.59
仏 CAC40	4956.47	-30.38
独 DAX	10985.14	-29.49
ストック欧州 600 指数	386.24	-0.45
ユーロファースト 300 指数	1528.15	-2.02
スペイン IBEX35 指数	10879.30	-68.60
イタリア FTSE MIB 指数	23248.52	-107.49
南ア アフリカ全株指数	50821.18	-554.26

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、ユーロ圏の4-6月期のGDP成長が鈍化したことを受けて、主要株価は軟調な動きとなった。また、英FT100は、原油相場の下落の影響も受けた。



(出所: ブルームバーグ)

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 17446.80 (+38.55)、S&P500 2086.53 (+3.14) ナスダック 5028.52 (-5.04)

◀ 欧州のポイント ▶

EUは、臨時のユーロ圏財務相会合をブリュッセルで開いた。財政危機に陥ったギリシャに対する、3年間で最大860億ユーロ（約11兆9000億円）と見込まれる新たな金融支援の実行を正式に決める公算が大きい。ギリシャに厳しい態度で臨むドイツは会合で合意条件を詰める方針だが、ドイツのショイブレ財務相は会合前に「今日結果が出せると確信している」との見通しを示した。

ギリシャは20日にECBに対する約32億ユーロの国債償還を控えており、新規融資は欠かせない。債務残高は3月末時点で3000億ユーロを超えており、これまでの支援に参加してきたIMFは、EUに対し負担の軽減策を求めている。7月12-13日のユーロ圏首脳会議での合意を受け、ギリシャとEU側はユーロ圏の金融安全網ESM（欧州安定メカニズム）を使った新たな支援の交渉を開始。8月11日に実務者協議で支援実行の条件となる一連の財政再建策に関する覚書案に合意した。

◀ NY 債券市場 ・ 午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、7月の米生産者物価や鉱工業生産がいずれも市場予想を上回ったことで米利上げへの警戒感が強まり、売りが先行した。その後は、8月の米ミシガン大消費者信頼感指数がさえなかったことから買い戻しも入り、相場の下げ幅が縮小した。

午前の利回りは、30年債が2.86%（前日2.86%）、10年債が2.20%（2.19%）、7年債が1.95%（1.94%）、5年債が1.59%（1.58%）、3年債が1.08%（1.06%）、2年債が0.72%（0.71%）。

3:30

NY金は、中心限月が前日比2.90ドル安の1オンス=1112.70ドルで取引を終了した。

4:10

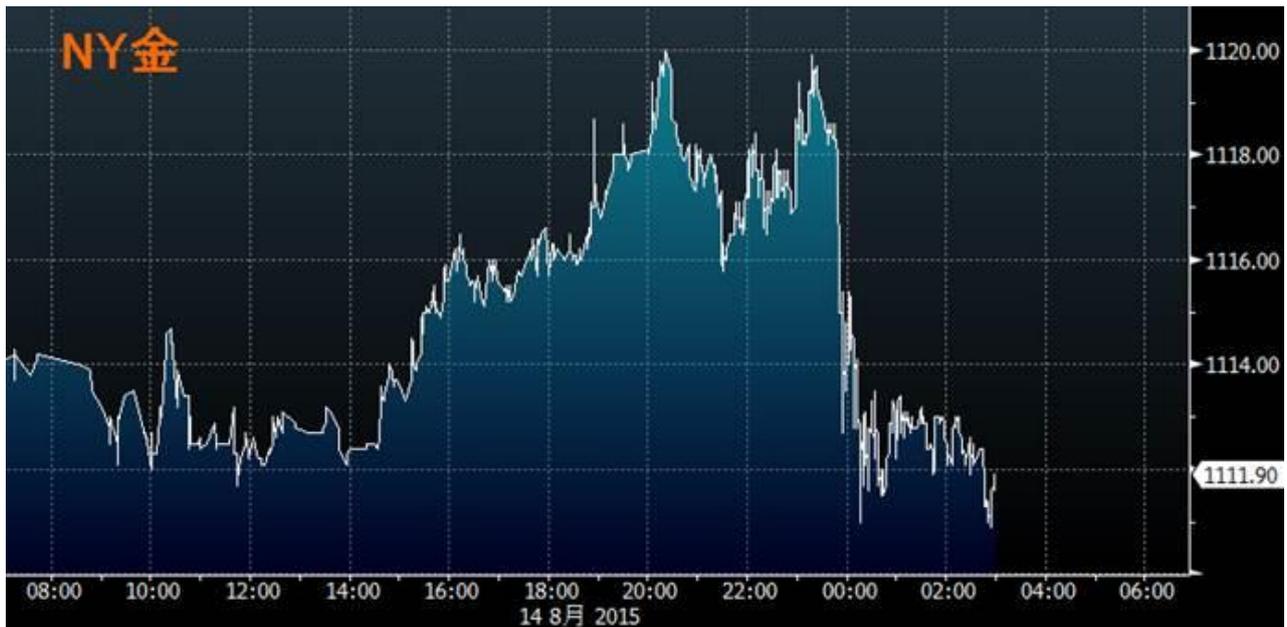
NY原油は、中心限月が前日比0.27ドル高の1バレル=42.50ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1112.70	-2.90
NY 原油	42.50	+0.27

(出所: SBILM)

◀ NY 金市場 ▶

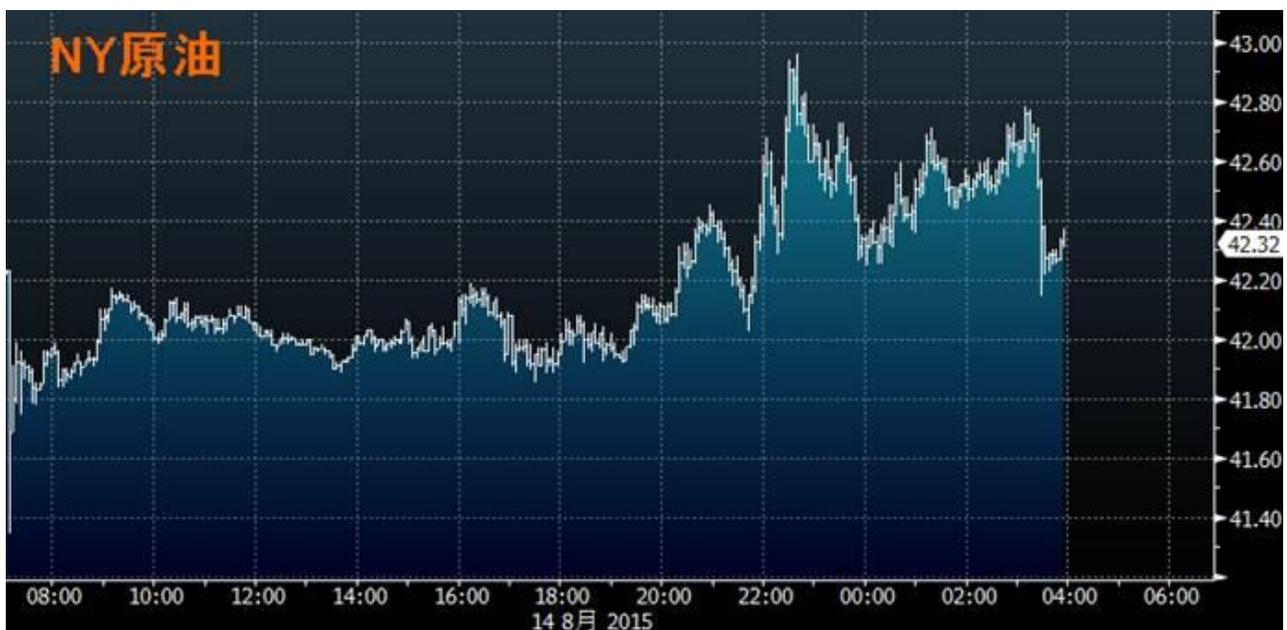
NY金は、ドルがユーロなどに対して上昇したのにつれて、ドルの代替資産とされる金の売りが優勢となった。また、卸売物価指数などの米経済指標が市場予想を上回り、9月の米利上げへの警戒感も強まったことも相場を圧迫した。



(出所：ブルームバーグ)

◀ NY 原油市場 ▶

NY原油は、最近の下落で約6年5ヵ月ぶりの安値水準となったことから値頃感が広がり、買い戻しが優勢となった。ただ、供給過剰感が強いことやドルがユーロなどに対して上昇したことから上値は限定的となった。



(出所：ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17477.40	+69.15	17492.90	17394.06
S&P500 種	2091.54	+8.15	2092.45	2080.61
ナスダック	5048.23	+14.68	5051.89	5012.61

(出所：SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、米国の卸売物価指数と鉱工業生産指数がいずれも上昇したため、米経済の順調な回復を見込んだ買いが広がり、主要株価は買いが優勢となった。しかし、夏季休暇シーズンで市場参加者が少ないことや、週末であることから、やや値動きは限定的となった。



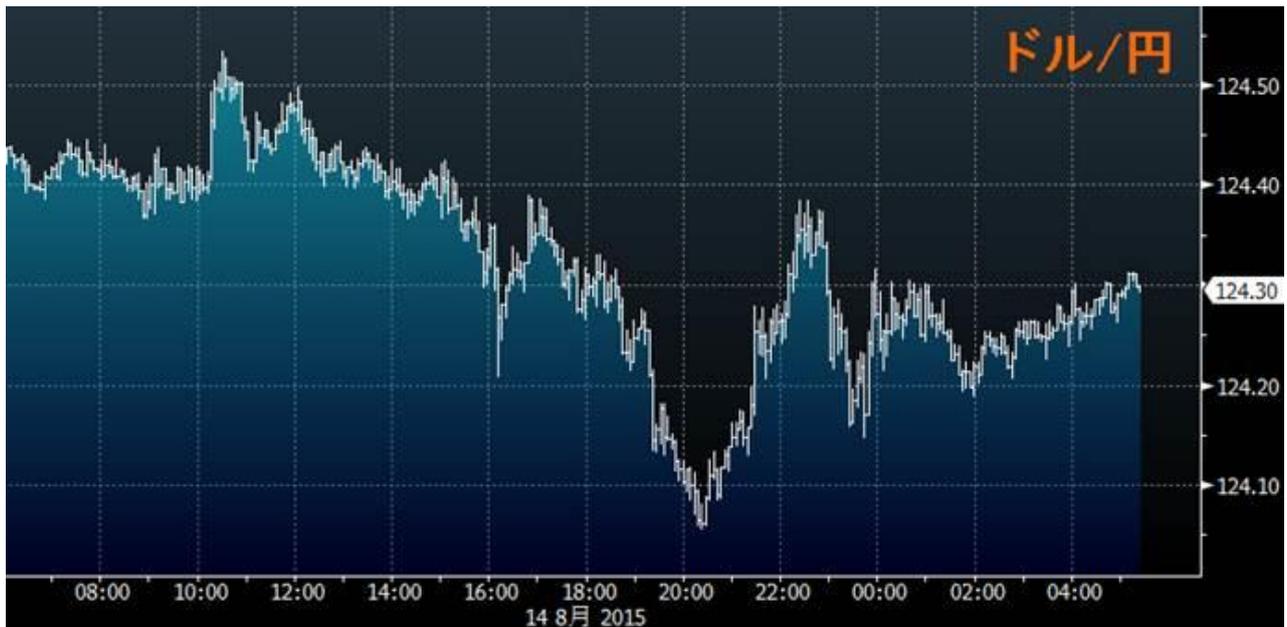
(出所：ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	124.31	124.39	124.12
EUR/JPY	138.11	138.73	137.93
GBP/JPY	194.47	194.54	193.92
AUD/JPY	91.75	91.90	91.56
NZD/JPY	81.28	81.64	81.23
EUR/USD	1.1112	1.1176	1.1099
AUD/USD	0.7381	0.7398	0.7366

(出所：SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標が予想を上回る結果となり、米国の利上げが意識されたことから、ドル買い・円売りが優勢となり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。しかし、その後に発表された消費者関連の指標が悪化したことや、米株価がマイナス圏まで下落する動きとなったことから、円を買い戻す動きも見られ、ドル円・クロス円は軟調な動きとなる場面もあった。



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。